



特集

愛知県では 交通事故が多発しています

4月26日現在、愛知県では55名の方が交通事故で亡くなっています。

愛知県は、昨年度17年ぶりに「全国ワーストワン」という不名誉な記録を脱却しましたが、本年1月から4月までの都道府県別交通事故死者数は全国でワーストワンとなっています。一瞬にして尊い命を奪い、平和な暮らしを破壊する交通事故をなくすことは、私たち愛知県民の切実な願いです。しかしながら、多くの皆さまの努力にもかかわらず、交通ルールの違反やマナーの低下などを原因とする悲惨な交通事故は跡を断ちません。また、高齢運転者によるアクセルとブレーキの踏み間違いが原因となる交通事故が高い割合で推移するなど、依然として厳しい状況が続いております。

都道府県別 事故死者数(年間)

1位	愛知	55人
2位	神奈川	52人
3位	東京	47人
3位	大阪	47人
5位	埼玉	41人

(令和2年4月26日現在)

飛島村安全運転支援装置設置費 補助制度を開始しました

高齢運転者のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故を1件でも減らすため、4月1日より村内に住所を有する65歳以上の方を対象に、後付の安全運転支援装置の設置費を補助する制度を始めました。

●提出書類

- ・自動車検査証の写し
- ・自動車運転免許証
- ・安全運転支援装置の購入および設置に要する費用の見積書の写し
- ・安全運転支援装置販売・設置証明書
- ・納税証明書または村税納付状況を税務職員以外の村職員が調査することに同意する文書
- ・請求書および領収書の写し
- ・その他村長が必要と認める書類

※詳しくは村公式ホームページをご覧ください。開発部建設課までお問合せください。

●問合せ先

開発部建設課

後部座席もシートベルトを必ず着用しましょう

令和元年シートベルト着用状況調査結果

区分		着用率	前年比
一般道	運転席	98.8%	0.0
	助手席	95.9%	0.0
	後部座席	39.2%	+1.2
高速道路	運転席	99.6%	0.0
	助手席	98.3%	-0.2
	後部座席	74.1%	-0.1

シートベルト着用状況全国調査 警察庁/JAF
(令和元年11月実施)

まだまだ低い、シートベルト着用率

令和元年11月に実施された調査によると、愛知県の後部座席同乗者のシートベルト着用率は、一般道46.4%、高速道路71.1%と運転席・助手席に比べてまだまだ着用意識が低い状況にあります。特に高速道路での後部座席の着用率は、全国調査の着用率と比較して、3%低下しています。

後部座席でのシートベルト非着用時の死亡率は、着用の場合の **約3倍**

シートベルト、正しく着用していますか

シートベルト安全利用チェックシート

- シートには深く腰掛けていますか。
- ヘッドレストは頭頂部の高さに合わせていますか。
- 肩ベルトは首やあごにかからず、肩の中央部を通っていますか。
- ベルトがねじれていませんか。
- 腰ベルトは骨盤を巻くようにしていますか。
- バックルはカチッと音がするまで差し込んでいますか。




横断中の交通事故が多発

子どももお年寄りも

手をあげて渡ろう



ハンド・アップ運動

-  歩行者は、道路を横断するときには手をあげ、ドライバーに横断することをアピールしましょう。
-  ドライバーは、手をあげている歩行者を見かけたら、思いやりの気持ちを持って、横断者の手前で止まりましょう。
-  ドライバーには、目と目を合わせ、感謝の気持ちを伝えましょう。

